

# 恋テーマに温泉街活性化

4年11月時点)、作並温泉郷は宮城県で初、全国では120番目に選ばれた。

## 作並「恋の湯めぐり」

作並温泉郷は昨年、恋人の聖地「湯神が守る恋／作並温泉郷」の認定を受けた。今年には旅館などに「恋のお湯かけ地蔵」を設置し、温泉街をめぐる企画も始めた。

恋人の聖地は、NPO地域活性化支援センターが手掛ける事業。全国に128カ所あり(201



恋のお湯かけ地蔵  
(岩松旅館)

恋のお湯かけ地蔵は5軒の旅館と縁結びのご利益で知られる湯神神社、作並湯の駅ラサンタに各1体、計7つを建立した。各旅館では「お湯かけ小瓶」も販売。恋の湯めぐりを紹介したガイドマップを作成し、小ビンに入っている湯をかける

と「恋のご利益があるかも」とPRしている。

小ピンは旅館ごとに異なり、それぞれに書かれている文字をつなげると、ある意味になると

## 秋保「靦橋のハート」

秋保温泉の磊々峡(いらいきょう)には、以前から一部の人たちの間で知られていたというハートのマーク。温泉街では新しい観光名所として売り出し中だ。

秋保温泉の入口、名取川に架かる長さ32㍎、高さ16㍎の「靦橋」(のぞきばし)から渓谷を見

下ろすと、自然にできた「ハート型の岩のくぼみ」を見つけることができる。ライトアップされると光の反射で赤く染まり、「一緒に見ると幸せになれるかも」という噂も広まった。

こちらも「靦橋♡ハート」として恋人の聖地に登録。秋保温泉旅館組合ではラプレターを題材にデザインした『AKIU恋MAP』も作成し、温泉街の「新しい顔」をPRしている。



ライトアップされたハートマーク